

学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」
をハードウェアから開発する - グループ名： Group3

担当教員名： 三上貞芳，高橋信行，鈴木昭二 学籍番号 1018225 氏名 田澤卓也

1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10/10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	8/10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備 はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	7/10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	8/10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	7/10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価 ・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	10/10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	17/20	標準14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	16/20	標準14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	88/100	

(注)週報の不備を，システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

2.理由

プロジェクト学習において、積極的に発言をしてメンバーとコミュニケーションをとって活動に取り組むことが出来ている。週報はすべて提出し、報告内容も十分書かれているが、毎週の提出期限については遅れて提出したものがあつた。グループ報告書はまだ完成していない。発表会については、動画で簡潔に活動の目的、進捗と今後の予定を伝えることができた。しっかりと準備を行うことができたと思う。しかし、質疑応答の時間をもう少し取っても良かったと感じた。アンケートからプロジェクトに対して期待を持ってもらえたことが分かった。先に書いたように、メンバーとよくコミュニケーションをとって、課題の設定、解決策の検討、議論を行うことが出来たと思う。プロジェクトに必要な知識のインプットの時間をもう少し取るべきであると感じた。計画性については、もう少しメンバーの間で作業分担をはっきりさせても良いと思う。プロジェクトの遂行に必要な知識がまだ不十分であるが、どのように学ぶことでプロジェクトの目的を達成できるかについてよく議論を行って成果を上げることを目指し活動が出来ていると思う。

3. 共同作業者によるコメント

コメンター氏名 : 小山内 駿輔

文書の作成が上手で、週報を書くときや知識の共有を行う時には非常に助かりました。
また、情報の共有が迅速かつ確実で、非常に頼りになりました。

サイン 小山内 駿輔

コメンター氏名 普久原 朝基 :

話の要約が分かりやすかったです。
よくまとめられていました。

サイン 普久原 朝基

3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳

教員サイン 高橋信行

教員サイン 鈴木昭二

学習ポートフォリオ_配属時

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳, 高橋信行, 鈴木昭二
氏名	田澤卓也
学籍番号	1018225
クラス	H
現時点における学習目標は何ですか。(複数回答可) プロジェクト学習を通じて習得したい事柄を選んでください。	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 発表(含むポスターの作成)方法; 学生同士でのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の設定方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(自由記述 200文字以上)	ロボットをゼロから作るうえで必要な知識、どのような工程で何から取り組めばいいのかメンバーの間で考えを共有して、先生にアドバイスをもらいながら、積極的に学習に努めること。ロボットに実装したい機能のアイデア出しを行うこと。お互いにまた、プロジェクト全体の目的・目標を意識しながら、グループにおける作業の計画を立てて、役割を分担する。さらに、進捗を確認しながら互いを評価し合って効率よく学習・作業を進めることが必要である。プロジェクトの目的・課題をしっかりと意識すること、ロボットをつくるにはなにをしたらよいのか考え、メンバーの間で知識考えをよく共有すること。
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	まあまあできる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	まあまあできる

証拠に基づいて意見を述べることができる	あまりできない
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	あまりできない
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	あまりできない
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	あまりできない
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	あまりできない
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	まあまあできる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	あまりできない
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	できる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	まあまあできる

どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	あまりできない
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探することができる	まあまあできる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	あまりできない
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	まあまあできる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	まあまあできる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	まあまあできる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	まあまあできる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	まあまあできる
他者を信頼し、共感することができる	あまりできない

活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	あまりできない
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	まあまあできる

学習ポートフォリオ_中間

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳, 高橋信行, 鈴木昭二
氏名	田澤卓也
学籍番号	1018225
クラス	H
配属時における学習目標は何でしたか。(複数回答可)	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 発表(含むポスターの作成)方法; 学生同士でのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の設定方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください.	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。(自由記述 200 文字以上)	<p>ロボットをゼロから作るうえで必要な知識、どのような工程で何から取り組めばいいのかメンバーの間で考えを共有して、先生にアドバイスをもらいながら、積極的に学習に努めた。ロボットに実装したい機能のアイデア出しを行いスケッチを行った。プロジェクト全体の目的・目標を意識しながら、グループにおける作業の計画を立てた。発表から改めて、進捗を確認しながら互いを評価し合って効率よく学習・作業を進めることが必要であることを振り返り、確認をした。さらに今後プロジェクトの目的・課題をしっかりと意識して、ロボットをつくるにはなにをしたらよいのか考え、メンバーの間で知識・考えを共有しながら進めることを確認した。</p>
<p>前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか?</p> <p>現時点(7月末)における学習目標を選択してください。(複数回答可)</p>	<p>プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 発表(含むポスターの作成)方法; 学生同士でのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の設定方法; 課題の解決方法</p>
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください.	

<p>(9 の質問で学習目標が変化した学生)</p> <p>学習目標が変わった理由は何ですか？(200 文字以上)</p>	
<p>後期, 学習目標の達成のために, どのようなことを行う必要があると考えますか。(200 文字以上)</p>	<p>これまでの活動で得たロボットの開発工程への進捗を把握し、今後の目標とスケジュールを改めて決めること。プロジェクト全体として作るロボットはどんなコンセプトと機能を持ったものが良いのか考えながら、残りの時間でグループのロボット制作に必要な知識のインプットに取り組むこと。スケジュールに合わせてメンバーの間に役割分担を考えて効率よくロボット開発に取り組むことをミーティングで考えを共有しながら確認すること。</p>
<p>前期の活動を振り返って, 活動全体の印象や感想を書いてください。(自由記述 200 文字以上)</p>	<p>始め何から手を付ければよいのかわからなかったが、先生の指導とプロジェクトメンバーとミーティングを通じてよくコミュニケーションを図り、活動をスタートさせることができた。もっと予定を管理して、個人で知識のインプットする作業に力を入れて、もっとプロジェクト学習の時間グループでできる作業時間をもう少し濃いものにできたのではないかと反省している。今後はお互いに進捗を自ら報告してグループの成果としてアウトプットできるように計画性をもって活動に取り組みたいと思う。プロジェクト全体として、目標を考え、グループ間で情報共有をして有意義な活動ができていて、今後にも期待できる活動内容だったと思う。</p>
<p>グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる</p>	<p>まあまあできる</p>
<p>活動を成功させるために必要な努力をする自信がある</p>	<p>まあまあできる</p>
<p>証拠に基づいて意見を述べることができる</p>	<p>まあまあできる</p>

自分で行った結果に対して責任を持つことができる	まあまあできる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	まあまあできる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	まあまあできる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	まあまあできる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	まあまあできる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	まあまあできる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	まあまあできる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	まあまあできる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	まあまあできる

さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探することができる	まあまあできる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	まあまあできる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	まあまあできる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	まあまあできる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	まあまあできる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	まあまあできる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	まあまあできる
他者を信頼し、共感することができる	できる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	まあまあできる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	まあまあできる

あなたは前期のプロジェクト学習に意欲的に取り組みましたか？	どちらともいえない
前期の活動を行ったことにより、あなたはプロジェクト学習の内容に興味を持てるようになりましたか？	どちらともいえない
前期のプロジェクト学習の活動は、あなたの今後役に立つと思いますか？	まあまあ役に立つ
今後、同じようプロジェクトを行うことになったら、もっとうまくやれる自信がありますか？	まあまあ自信がある
前期のプロジェクト学習の活動に満足していますか？	どちらともいえない
オンラインでの発表に関して、問題点の指摘や改善方法の提案などがあれば記してください。	